

事務連絡
令和8年 6月 30日

都道府県下水道担当課長
政令指定都市下水道担当部長
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業調整課長
都市再生機構下水道担当課長

殿

国土交通省水管理・国土保全局
上下水道企画課
管理企画指導室企画専門官
下水道事業課
事業マネジメント推進室課長補佐

下水道セーフティネット NO. 295 について
（令和8年5月分）

1. 維持管理作業事故

令和8年5月は1件（死亡：1件、負傷：0件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べ事故総件数は同数でした。

既に全国の下水道管理者の皆様には注意喚起をさせていただきましたが、下記のとおり1件の死亡事故が発生しております。

本件は、下水道管路の損傷等をカメラ調査により確認するため、マンホール内に入ったところ作業員1名が倒れ、これを救助しようとした別の作業員1名も倒れたものです。（事故原因については調査中です。）

その後作業員2名は、低酸素脳症により死亡が確認されました。

2. 工事故

令和8年5月は9件（負傷：8件、物損：1件）の事故報告があり、昨年の同期間と比べると3件増加しました。

工事故の例として、脚立に登って材料を取ろうとしたところ、足を滑らせ柵から出ている鉄のアンクルに右わき腹が当たる事故や工事車両と走行してきたバイクが交差点で衝突した事故が発生しました。

3. 水質事故等

令和8年5月は4件（水質事故：3件、その他案件：1件）の事故報告があり、昨年の同時期と比べると3件増加しました。

その他事故の事例として、汚泥処理センターの乾燥設備棟内で火災が発生しました。

4. 発生事故を踏まえた今後の対応について

先述の作業員の死亡事故を受けて発出した「下水道管路等内作業における安全

確保の徹底について」(令和8年5月20日付事務連絡)も踏まえ、下水道管路内作業においては、作業者の安全性を最優先し、換気や転落防止などの安全対策を十分に実施することを改めて徹底し事故の未然防止に努め、施設の運転管理や保全管理を適切に実施していただきますようお願いいたします。

※ 下水道の維持管理に関する事故、工事現場で事故が発生した場合には、原則各地方整備局等の担当まで報告をお願いします。また、重大な事故の場合は、本省及び各地方整備局の担当まで同時に報告をお願いします。

※ 下記のHPにて掲載している、下水道セーフティネット、事故データベース、通知等を活用していただき、事故の未然防止に努めていただきますようお願いいたします。

HP: https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000005.html

※ 厚生労働省の下記のHPに労働災害事例が掲載されていますので、事故の未然防止に活用いただきますようお願いいたします。

HP: https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SAI_FND.aspx

(担当・問い合わせ先)

国土交通省 水管理・国土保全局

上下水道企画課管理企画指導室(維持管理事故(水質事故等含む)担当)

平野 : hirano-h2ia@mlit.go.jp

大内 : oouchi-m8310@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8428(直通) FAX: 03-5253-1596

下水道事業課事業マネジメント推進室(工事事故担当)

田中 : tanaka-y2an@mlit.go.jp

椿野 : tsubakino-s2m8@mlit.go.jp

TEL:03-5253-8431(直通) FAX: 03-5253-1597

令和 8 年度
下水道に関する事故発生状況について
(令和 8 年 5 月末時点)

1. 人身事故（総括）
2. 維持管理作業事故
3. 工事事故
4. 水質事故等

国土交通省 水管理・国土保全局
上下水道企画課
下水道事業課

1.人身事故(総括)

(令和8年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度 合計
維持 管理 作業	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	2. 負傷事故	3 (1)	0 (1)											3 (2)
	合計	3 (1)	1 (1)											4 (2)
	累計	3 (1)	4 (2)											-
工 事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. 負傷事故	2 (0)	8 (3)											10 (3)
	合計	2 (0)	8 (3)											10 (3)
	累計	2 (0)	10 (3)											-
合 計	1. 死亡事故	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	2. 負傷事故	5 (1)	8 (4)											13 (5)
	合計	5 (1)	9 (4)											14 (5)
	累計	5 (1)	14 (5)											-

※下段()書きは前年度(令和7年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故 (令和8年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. 政令市	3 (0)	0 (0)											3 (0)
	3. 一般市	0 (1)	1 (1)											1 (2)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	3 (1)	1 (1)											4 (2)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. マンホール	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	3. 処理場	2 (1)	0 (1)											2 (2)
	4. ポンプ場	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	3 (1)	1 (1)											4 (2)
事故類型	死亡事故	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	負傷事故	3 (1)	0 (1)											3 (2)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)											1 1
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 0
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 0
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)											1 0
	5. 転倒	1 (0)	0 (0)											1 0
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 0
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 0
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 0
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 0
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 0
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 0
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)											0 0
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 0
	14. その他	0 (1)	0 (0)											0 1
	合計	3 (1)	1 (1)											4 (2)
被災者数	1. 自治体職員	0 (0)	0 (0)											0 0
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 0
	②負傷	0 (0)	0 (0)											0 0
	2. 委託先業者	3 (2)	2 (1)											5 3
	①死亡	0 (0)	2 (0)											2 0
	②負傷	3 (2)	0 (1)											3 3
	3. 第三者	0 (0)	0 (0)											0 0
	①死亡	0 (0)	0 (0)											0 0
	②負傷	0 (0)	0 (0)											0 0
	合計	3 (2)	2 (1)											5 (3)
	累計	3 (2)	2 (1)											- -

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和8年5月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
5月										
1	R8.5.19	一般市	マンホール	⑭その他	下水道管路の損傷等をカメラ調査により確認するため、マンホール内に入ったところ作業員1名が倒れ、これを救助しようとした別の作業員1名も倒れたものです。（事故原因については調査中です。） その後作業員2名は低酸素脳症により死亡が確認されました。	・再発防止策を検討中	委託先業者	31	男	死亡
								70	男	死亡

:死亡事故

:負傷事故

3.工事事務 (令和8年5月末時点)

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (2)	3 (1)											5 (3)
	2. 政令市	1 (0)	1 (3)											2 (3)
	3. 一般市	1 (0)	4 (1)											5 (1)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. その他	0 (0)	1 (1)											1 (1)
	合計	4 (2)	9 (6)											13 (8)
工事分類	1. 管きょ開削	2 (2)	2 (4)											4 (6)
	2. 管きょ推進	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	3. 管きょシールド	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	4. 管きょその他	0 (0)	3 (1)											3 (1)
	5. 処ボ土木建築	1 (0)	1 (1)											2 (1)
	6. 処ボ機械電気	1 (0)	1 (0)											2 (0)
	7. 処ボその他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	4 (2)	9 (6)											13 (8)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)											0 (8)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	負傷事故	2 (0)	8 (3)											10 (3)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (1)											1 (1)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	1 (1)											1 (1)
	3. 飛来・落下	0 (0)	2 (0)											2 (0)
	4. 切れ・こすれ	1 (0)	0 (0)											1 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	6. 激突	0 (0)	1 (1)											1 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	12-1. 公衆災害(人身)	0 (0)	4 (0)											4 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	物損事故	2 (2)	1 (3)											3 (5)
	12-2. 公衆災害(物損)	2 (2)	1 (3)											3 (5)
	合計	4 (4)	9 (6)											13 (10)

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	2. 負傷	2 (0)	8 (3)											10 (3)
	合計	2 (0)	8 (3)											10 (3)
	累計	2 (0)	10 (3)											- -

※()書きは、前年度(令和7年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和8年5月末時点

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被害者状況		
		事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	年齢	性別	被害状況
5月										
1	R8.5.13	1.都道府県	6.処ボ機械電気	建設工事	高所にある材料を脚立（2,700mm）に登って取ろうとしたところ高さ240cm辺りから足を滑らせて落ちた。その際、アングル棚から飛び出した鉄のアングルの先端に右わき腹が接触。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	56	男	右胸部挫減、右「胸」穿通創、低酸素血症、脱水症、外傷性出血性ショック、出血性胃潰瘍
2	R8.5.18	5.その他	5.処ボ土木建築	建設工事	終沈底盤コンクリート打設完了後、ポンプ車ホース内に残っていたコンクリートの清掃を行っていた。ホース内を洗浄するために水を圧送した際にホースの詰まりが抜けると同時にホースが暴れ、被災者に直撃した模様。	現場内	6.激突	51	男	くも膜下出血、中度の脳挫傷、耳・鼻付近骨折
3	R8.5.19	3.一般市	4.管きょその他	管更生	本管洗管後、宅地からの汚水を止水するプラグ（栓）を公共樹下流の取付管に設置するため、罹災者に閉まっている駐車場のゲートを開けてもらうよう依頼。 罹災者がゲートを開ける際、開いていた公共樹に気づかずに右足が樹に落ちてしまい罹災したもの。	現場外	12-1.公衆災害（人身）	68	男	右手薬指裂傷（4針縫合）、右足大腿部打撲、両膝及び右ほほのすり傷
4	R8.5.20	3.一般市	1.管きょ開削	開削工	工事現場から現場事務所に戻る際、工事車両（ダンプトラック3 t）と走行してきたバイクが交差点で衝突した	現場外	12-1.公衆災害（人身）	61	男	足の打撲・擦り傷
5	R8.5.23	1.都道府県	4.管きょその他	管更生	舗装の本復旧作業中、交通誘導警備員が注意喚起を行ったものの、私道から自転車に乗車した被害者が交通規制帯内に侵入し、路面5センチの段差（基層状態）の影響でバランスを崩し転倒	現場内	12-1.公衆災害（人身）	85	男	左足負傷（4針縫合）、右膝打撲
6	R8.5.26	2.政令市	3.管きょシールド	シールド工	初期掘進完了後の段取替から本掘進を行った。 掘進を行う際は加泥材を注入することとなるが、加泥材が地上まで逸泥し圧力により舗装（歩車道）を隆起（9cm）させたことを確認した。	現場内	12-2.公衆災害（物損）			
7	R8.5.27	1.都道府県	4.管きょその他	管更生	道路規制のうえ施工中、規制区域内から進出した工事関係車両（ダンプ）と、後方から走行してきたバイクが接触する事故が発生した。	現場外	12-1.公衆災害（人身）	53	男	左くるぶし骨折
8	R8.5.28	3.一般市	2.管きょ推進	バックホウ 運転	山留支保工設置作業中、縦梁の調整を行う際に腹起し・切梁が不安定な状態となり、ミニバックホウで押さえたことで回転力が作用し、部材が外れて立坑内に落下した。その結果、立坑下で作業していたバックホウ運転手が挟まれ被災した。	現場内	3.飛来・落下	49	男	骨盤骨折2か所（意識あり）
9	R8.5.28	3.一般市	1.管きょ開削	開削工	敷き鉄板を移動をする作業中、バックホウで敷き鉄板を吊り上げるにあたり約25cm浮かせたが、フックが穴に引っ掛かっておらず、再度引っ掛けるためにフックをセットハンマーで叩いたところ、落下対策をしない状態であったためフックが外れて敷き鉄板が作業員の左足先に落ちた。	現場内	3.飛来・落下	53	男	左足小指・薬指・中指骨折（入院1週間）

:死亡事故

:負傷事故

:物損事故

4.水質事故等
(令和8年5月末時点)

[総括]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	5 (2)	4 (1)											9 (3)
	累計	5 (2)	4 (1)											- -

[内訳]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	0 (0)											0 1
	2. 政令市	2 (0)	3 (0)											5 0
	3. 一般市	3 (1)	1 (1)											4 3
	4. 町村	0 (0)	0 (0)											0 6
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 0
	合計	5 (2)	4 (1)											9 (10)
発生施設	1. 管渠	1 (0)	0 (0)											1 0
	2. マンホール	0 (1)	2 (0)											2 1
	3. 処理場	4 (1)	1 (1)											5 3
	4. ポンプ場	0 (0)	1 (0)											1 0
	5. その他	0 (0)	0 (0)											0 0
	合計	5 (2)	4 (1)											9 (4)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	4 (1)	3 (0)											7 1
	2. 民間事業者(一般人を含む)	0 (0)	0 (1)											0 2
	3. その他(天災、原因者不明含む)	1 (1)	1 (0)											2 1
	合計	5 (2)	4 (1)											9 (4)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	1 (1)	0 (1)											1 3
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)											0 0
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	2 (0)	0 (0)											2 0
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	0 (0)											0 0
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	3 (0)											5 1
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)											0 0
	水質事故 合計	5 (2)	3 (1)											8 (3)
	その他案件	0 (0)	1 (0)											1 (0)
	水質事故等 合計	5 (2)	4 (1)											9 (3)
状況分類	① 耐用年数経過	1 (1)	0 (0)											1 (1)
	② 耐用年数以内	1 (0)	2 (0)											3 (0)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)											0 (0)
	合計	2 (1)	2 (0)											4 (1)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計
※()書きは、前年度(令和7年度)の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和8年5月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	事故への対応
5月							
1	R8.5.8	2.政令市	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	マンホールの上流管口部が破損し、剥離したコンクリートガラなどが、下流管口部や下流本管内に堆積し流下能力が低下していたため、マンホール蓋の鍵穴部等から一部の汚水があふれた。	人孔破損部の改修および、上流管周辺の土砂を引き込んで空洞が生じている可能性があるため、本管の布設替えを実施予定。
2	R8.5.11	3.一般市	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	布設から約16年経過して初めて下水道管の接続がなされ、圧送先マンホールから下流の既接続があったことから、当マンホール内にマンホールポンプが未設置である認識がなかったため汚水溢水。	マンホールポンプ内の汚水を引き抜いた後、仮設ポンプを設置し、早急に正規ポンプと制御盤の設置する。なお、正規ポンプ及び制御盤の設置までは定期的に自家発電により引抜を実施する。
3	R8.5.22	2.政令市	ポンプ場	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	雨水電動ポンプの定期点検中、点検作業の手順を誤り、本来下水処理場へ送水すべき汚水を河川へ流出してしまった。	再発防止策として下記事項を実施 ①点検マニュアルの見直し ② 『点検チェックリスト』の新規作成 ③再発防止研修の実施（5/25、27-29に従事者向けを緊急安全会議を実施
4	R8.5.25	2.政令市	処理場	その他案件	⑥その他事故（①～⑤以外の事故）	泥処理センターの乾燥設備棟内で火災が発生した。	・再発防止策を検討中